

2026 年 7 月 4 日実施 1 日環境大学実施レポート

— 西栗倉の森で、学ぶ・楽しむ・感じる —

2026 年 7 月 4 日（土）、岡山県美作県民局主催の環境学習イベント「1 日環境大学」が西栗倉村にて開催しました。「1 日環境大学」は、身近な自然に触れながら資源循環や生物多様性を体感し、環境を大切に作る心を育んでいただくことを目的とした取組です。今回は、「西栗倉の森で、学ぶ・楽しむ・感じる」をテーマに、西栗倉村の豊かな自然や地域資源を活用したさまざまな体験を通して、環境について楽しく学びました。

主催：岡山県美作県民局 内蔵：株式会社エーゼログループ 協力：美作市・西栗倉村 後援：岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議 実行委員会：西栗倉村環境学習会

2026 年 岡山環境イベント

1日環境大学

西栗倉の森で、学ぶ・楽しむ・感じる

2026 年 7 月 4 日（土）

場所：西栗倉村

定員：45 名（小学生以下は保護者同伴）

参加費：大人（要申込）1,000 円
小学生以下 無料

※参加費は当日、現金で受付いたします。

ど家族、お友達とご参加ください。

生き物と遊びよう！
ビオトープ

木材加工場

若杉天然林

森の水を加工する工場を見学しよう！

森の木を削って作る
ヒノキ工場の
ワークショップも
開催できます！

手つかずの自然の中を歩き
森の空気を肌で感じよう。

お申し込み方法について詳しく
説明をご覧ください。

天候等により内容・スケジュールが変更となる場合があります。

タイムスケジュール

10:30 百年の森林構想
西栗倉村が取り巻く
地域資源と経済の循環モデル
【百年の森林事業】をご紹介します。
村内産木材により建設された庁舎見学。

11:20 資源循環・生物多様性
ビオトープで遊ぶ
木材加工場見学

12:40 昼食【BASE 101%】
ビオトープで収穫したお米やジャガイモなど、自然の恵みを
を食すことなく生かした森のごちそういただきます！

13:40 若杉天然林 ※雨天決行
天然林と人工林の違いを
肌で感じよう。
森をみて学ぶ、生き物の
生存戦略とは。

15:30 道の駅（あわくらんど）
あわくらんどでお買い物。
15:50 現地解散
16:30 美作市役所到着（解散）
18:00 岡山駅西口到着（解散）

集合・アクセス

会場まではバスで送迎いたします。
バス利用をご希望の方は、下記の集合場所・時刻を
ご確認ください。

※集合場所は可能です。
集合時刻には遅れないようご注意ください。

バス運行ルート

7:50 集合
8:00 出発
岡山駅西口
9:20 集合
9:30 出発
美作市役所 駐車場
10:00 集合 西栗倉村 道の駅あわくらんど
10:10 出発 バスツアー開始
自家用車でお越しの場合
「道の駅あわくらんど」第二駐車場。までお越しください。
そこからバスツアーの乗降となります。

お申し込み

お申し込み期限
2026 年 6 月 1 日～6 月 19 日

お申し込みは以下の方法でお願いいたします。

①インターネット
先日の 2 次受付より
お申し込みください。

②お電話
下記までご連絡ください。
0868-73-0338
受付時間：平日 9 時～17 時

服装と持ち物

服装 動きやすい服装 / 靴 / 帽子

持ち物 飲み物 / 熱中症対策
虫よけスプレー / 雨具（必要に応じて）
※雨傘は持って来ないでください。
タオル / 予備の着替え / 長靴

お問合せ・お申込み先

株式会社エーゼログループ

住所 〒700-0004
岡山県美作郡西栗倉町 481-1
電話 0868-73-0338
営業時間 平日 9 時から 17 時

日時	2026 年 7 月 4 日（土） 10:30～15:50（岡山駅に 18:00 帰着）
場所	岡山県英田郡西栗倉村
主催等	主催：岡山県美作県民局 共催：株式会社エーゼログループ 協力：美作市・西栗倉村 後援：岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議
参加者	41 名（定員：先着 45 名、小学生以下は保護者同伴）

内 容	百年の森林構想の講義・役場庁舎＆あわくら会館見学／バイオ田んぼでの生き物さがし／木材加工場見学・ヒノキとんぼづくり／BASE 101%での昼食／若杉天然林の森歩き
-----	---

西栗倉に集まる、1日限りの「環境大学生」！

当日は梅雨の時期で雨が降ったり止んだりの空模様。それでも、岡山駅・美作市役所・道の駅あわくらんの各地からバスに乗って集まった参加者のみなさんは、しっとりと潤う森や山に迎えられ西栗倉に到着しました。参加者は、小さなお子さん連れのご家族から、自然や森林に関心を寄せる大人の方までさまざまでした。バスを降りた瞬間に広がる山あいの景色と澄んだ空気とともに、「大学」の一日が始まりました。



百年の森林構想の講義と庁舎見学 — 自然の恵みを肌で感じる冷暖房

最初は、西栗倉村の上山隆浩副村長によるお話です。面積の多くを森林が占める西栗倉村が取り組む、地域資源と経済の循環モデル「百年の森林（もり）事業」について、村内産木材をふんだんに使って建てられたあわくら会館・百森ひろばにて、学びました。未来の森と村の姿を見据えて木を植え、育て、使い、その恵みを村の暮らしと経済に還していくという、壮大な構想のお話に、大人の参加者が深くうなずく姿が印象的でした。



講義の後は、副村長の案内で庁舎を更に見学。冬は木材チップを活用したボイラーで暖房を、夏は地下水を汲み上げて冷房をまかなっているというお話には、参加者は興味深そうに話を聞いていました。実際に庁舎内の床から吹き出すひんやりとした空気に手をかざし、それが機械だけでつくられたものではなく、森と大地からの自然の恵みであることを、肌で実感する時間となりました。



アンケートでも「庁舎での自然のクーラーのことを知ることができた」「あたたかみのある建物で、何度も足を運びたくなった」といった声が寄せられました。

バイオ田んぼで生き物さがし — 雨なんてへっちゃら！

続いては、田んぼの価値を高める生き物との共存をめざすビオトープ付きの田んぼ「バイオ田んぼ」での生き物さがしです。ここでは子どもたちが元気いっぱい生き物探しを楽しみました。雨も全く関係なく、網やバケツを手にも夢中で田んぼの中の生き物を探し、何かが見つかるたびに「これはなんだろう？」と講師に尋ねては目を輝かせていました。そして、その熱中する子どもたちの背中を大人たちは嬉しそうに眺めながら、時に一緒にガサガサと生き物探しをされていました。



この日はタガメの赤ちゃんや成虫にも出会うことができ、「野生のタガメが見られた。これほど豊かなビオトープは見たことがない」という感動の声もありました。農薬をできる限り使わない田

んぼだからこそ育まれる、たくさんの命と、日本の田んぼが本来もっていた生き物の豊かさを、大人も子どもも五感いっぱいを感じたひとときでした。



木材加工場の見学とヒノキとんぼづくり

木材事業における資源循環の具体的な事例の1つとして、木材加工場を見学しました。この日は工場が稼働していない土曜日だったのですが、工場を歩きながら製材の流れや工夫、端材やおがくずまで無駄なく使い切る工夫の説明を受けました。現場は製材された木材が積み上げられた様子、板や製品へと姿を変えていく機械たちが並び、大人も子ども熱心に見学していました。

あわせて体験いただいたのは、ヒノキを削ってつくる竹とんぼならぬ「ヒノキとんぼ」のワークショップ。子どもたちはヤスリやマーカーを手に真剣そのもの。参考となる完成品を注視して、羽を熱心に削っては飛ばして調整を繰り返したり、削りたてのヒノキの香りをすうっと吸い込んで楽しんだり。森の木が姿を変えて手元のおもちゃになる体験を通して、木を使うことも森を育てることにつながることを学びました。



お昼ごはんは森のごちそう — BASE 101%-NISHIAWAKURA-

お昼ごはんは、エーゼログループの運営する飲食店「BASE 101%-NISHIAWAKURA-」でいただきました。村の農家さんが作られたお米、村や近隣の山で獲れた鹿肉を使った生姜焼きなど、自然の恵みを余すことなく生かした森のごちそうをいただきました。「初めてシカ肉を食べたけれど、思ったよりおいしかった」という声が多く聞かれ、食後には村の酪農家さんの牛乳を使ったソフトクリームも登場。地域の食材を地域でおいしくいただくことも、大切な資源循環のかたちであることを学びました。



また、今回はどうしても食べきれない方の残飯を堆肥にするためにコンポストも設置。山の恵みから食卓、どうしても出てくる残飯は土に還して、そこからできる堆肥はお米作りに活かす。参加者は食事を通して、資源が循環する仕組みを学びました。

若杉天然林の森歩き — 雨の森ならではの表情

午後は、植物がありのまま育ち共存する若杉天然林へ。森の案内人・エーゼログループの太刀川さんの解説を聞きながら、天然林と人工林の違いや、菌類・苔類・木々の生存戦略を肌で感じる森歩きです。雨上がりの霧が漂う原生林は、まるで物語の世界のような幻想的な美しさでした。「雨の天然林の雰囲気や空気感を感じられて、とても良い経験になった」「霧の漂う原生林で解説を聞くのは不思議な感慨があった」と、雨の日ならではの森の表情が、かえって参加者の皆様の心に深く残ったようです。

「3センチ育つのに9年かかる木と、1年で6センチ育つ木を見比べられた」という声のとおり、一本一本の木の戦略や、その木々のペースで流れる森の時間に触れ、参加者の皆様それぞれが自分なりの発見を持ち帰ることができました。森歩きのあとは道の駅あわくらんどに立ち寄り、短い時間でしたが村のお土産を選ぶ時間も楽しみました。参加者は西栗倉村での一日を振り返りながら、帰路につきました。



アンケートから — 参加者のみなさんの声

参加者アンケート（回収 34 件）では、満足度は「大変満足」68%、「満足」32%と、全員から「満足」以上の評価をいただきました。一番心にのこったプログラムは「ビオ田んぼでの生き物さがし」（44%）がトップ、次いで「若杉天然林の森歩き」（29%）。そして「自然を大切にしたい気持ちが強くなりましたか」という問いには、全員が「とても強くなった」（68%）または「少し強くなった」（32%）と回答してくださいました。

関心のある環境分野としては「地球温暖化」（50%）、「環境に配慮したライフスタイル」（47%）、「森林保全」（41%）が上位にあがり、一日の体験が身近な環境問題への関心にもつながっている様子がうかがえます。また、参加者の約 6 割は西栗倉村を初めて訪れた方でしたが、9 割以上が「ぜひまた来たい」と答えてくださいました。今後参加したいイベントとして「森や川の生き物観察」（74%）や「木を使った工作体験」（56%）を挙げる声も多く、「楽しく大学生をしました。色々なイベントを催してくださって、楽しかった。また来たいです」という嬉しいメッセージもいただきました。

おわりに

雨が降ったり止んだりの一日でしたが、振り返れば、雨に濡れた森の緑も、霧の原生林も、雨をものともしない子どもたちの歓声も、すべてがこの日だからこそ見られた風景で宝物のように感じています。

森の恵みを感じ、味わい、学んだ1日環境大学。

ここで芽生えた「自然を大切にしたい」という気持ちを、これからの暮らしの中で育てていただけたら幸いです。

ご参加いただいた皆様をはじめ、開催に御協力いただいた西栗倉村、美作市、その他関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。また、本イベントの企画・運営に御尽力いただいた株式会社エーゼログループの皆様には、西栗倉村の豊かな自然や地域資源の魅力を生かした多彩なプログラムを企画・実施していただき、参加者にとって学びと発見の多い一日となりました。御協力いただいた皆様に、改めて厚く御礼申し上げます。

